

1. 農地・水保全管理支払交付金制度の更新と法制化

平成19年4月から農地・水保全管理支払交付金制度により新潟県内の農地・水・環境保全向上対策活動が始まり、生態系保全活動が「松沢みどりを守り隊」などの218組織で実施されました。田んぼの生きもの調査は世代を超えて参加でき、誰でも楽しく調査できる活動です。

平成26年4月から日本型直接支払制度の多面的機能支払交付金による地域の共同活動の農村環境保全活動で生態系保全活動が行われています。この制度は、平成26年6月13日に第186回国会で日本型直接支払制度（多面的機能支払、中山間地域等直接支払、環境保全型農業直接支援）を法制化する「農業の有する多面的機能の発揮の促進に関する法律案」（閣法第50号）が可決され、平成27年4月から施行されました。

平成27年に農村環境保全活動を行うと対象農用地面積が田で2,400円／10アールの交付金が活動組織に支払われることになります。多面的機能支払交付金の概要は図―1を参照してください。

多面的機能の増進を図る活動とは、表―1を参照してください。生態系保全活動は『e；農村環境保全活動の幅広い展開』の生態系の保全・再生等に該当します。

表―1；多面的機能の増進を図る活動

a：遊休農地の有効活用 地域内外からの営農者の確保、地域住民による活用、企業と連携した特産物の作付等、遊休農地の有効活用のための活動	b：農地周りの共同活動の強化 鳥獣被害防止のための対策施設の設置や農地周りの藪等の伐採、農地への侵入竹等の防止等、農地利用や地域環境の改善のための活動
c：地域住民による直営施工 農業者・地域住民が直接参加した施設の補修や環境保全施設の設置、そのための技術習得等、地域住民が参加した直営施工による活動	d：防災・減災力の強化 水田やため池の雨水貯留機能の活用、危険ため池の管理体制の整備・強化等、地域が一体となった防災・減災力の強化活動
e：農村環境保全活動の幅広い展開 農地等の環境資源としての役割を活かした、景観の形成、生態系の保全・再生等、農村環境の良好な保全に向けた幅広い活動	f：医療・福祉との連携 地域の医療・福祉施設等と連携した、農村環境保全活動への参画や農業体験等を通じた交流活動等、地域と医療・福祉施設等との連携を強化する活動
g：農村文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化 農村特有の景観や文化を形成してきた伝統的な農業技術、農業に由来する行事の継承等、文化の伝承を通じた農村コミュニティの強化に資する活動	
h：a～gのほか、都道府県が実施要綱に基づく基本方針において対象活動とすることとした活動	

（引用文献；多面的機能支払交付金のあらまし 平成27年3月農林水産省 p5）



2. 多面的機能支払交付金の交付単価

(円/10a)

都府県	①農地維持支払	②資源向上支払 (共同活動※1、2、3)	①と②に取り組む 場合	③資源向上支払 (長寿命化※4)	①、②及び③に取り組む 場合※5
田	3,000	2,400	5,400	4,400	9,200
畑※6	2,000	1,440	3,440	2,000	5,080
草地	250	240	490	400	830
北海道	①	②※1、2、3	①+②	③※4	①+②+③※5
田	2,300	1,920	4,220	3,400	7,140
畑※6	1,000	480	1,480	600	1,960
草地	130	120	250	400	620

○地域資源保全プランの策定：50万円/組織 ○組織の広域化・体制強化：40万円/組織
 ※1：農地・水・環境保全向上対策及び農地・水保全管理支払の取組を5年間以上継続している農用地については、単価は0.75を乗じた額となる。

※2：②の資源向上支払(共同活動)は、①の農地維持支払と併せて取り組むことが基本。

※3：多面的機能の増進を図る活動に取り組めない場合は、単価は5/6を乗じた額となる。

※4：水路や農道などの施設の老朽化部分の補修や施設の更新を実施。

※5：②及び③と一緒に取り組む場合は、②の単価は0.75を乗じた額となる。従って、①、②及び③と一緒に取り組む場合、都府県・田では合計で9,200円/10aとなる。

※6：畑には樹園地を含む。

図一1；多面的機能支払交付金の概要

(引用文献；多面的機能支払交付金のあらまし 平成27年3月農林水産省 p2)

2. 松沢みどりを守り隊の田んぼの生きもの調査活動への支援

1) 地域概要

「松沢みどりを守り隊」は、新潟県村上市松沢地区の地域資源保全会（以下、「松沢集落」という）です。

松沢集落の面積は約5平方キロメートル、周囲約12.5キロメートルです。

図一2より松沢集落は、東側および北・南側が標高70～300メートルの小起伏山地に囲まれ、松沢川沿いに谷内田を営む里地里山を形成する集落です。

2010年度政府統計によると松沢集落の人口は222人、15歳未満16人、15歳から64歳が132人、65歳以上74人で、65歳以上の割合は3割強です。世帯総数62戸、総農家数41戸、販売農家数34戸で、農業に関わる世帯の割合は7割弱となっています。

2) 田んぼの生きもの調査活動への支援

筆者は平成19年から田んぼの生きもの調査に同行して、採捕された生きものの種を特定してきました。表一2より、現在まで76種の生きものを確認しました。また、生きもの調査の参加人数は平成19年が16人で、平成27年までに210人が参加しました。しかし、平成21年の45人をピークに、参加人数は減少傾向です。

さらに筆者は、生きもの調査マップを水土里情報利活用促進事業（農林水産省農村振興局H18～22年度の事業）の地図情報データベースを基図として利用し、低価格なGPS機器およびGISソフトで作成し記録してきました（図一3を参照）。

3) 多面的機能の増進を図るための活動

レッドデータブックにいがたの検討会座長および植物を担当された石澤進さんが平成24年から参加され、松沢の貴重な植物について調査をしています。さらに、平成27年は、コナラ切株の萌芽更新調査を現地指導していただきました。

また、松沢の森林資源活用のため、竹暗渠や竹水路を活用した野田堤跡のビオトープ湿原造成を直営施工で進めたり、竹水路を流しそうめんに利用したり、多面的機能の増進を図るための活動を進めています。なお、竹暗渠は筆者が佐渡島の旧赤泊村で地下水（湧水）排除工事で採用した工法です。

4) 田んぼの生きもの調査活動支援の今後の展開方向

① 10年間（平成19年から28年まで）の活動記録のとりまとめ

② 田んぼの生きもの発表会又は勉強会の年1回以上の開催

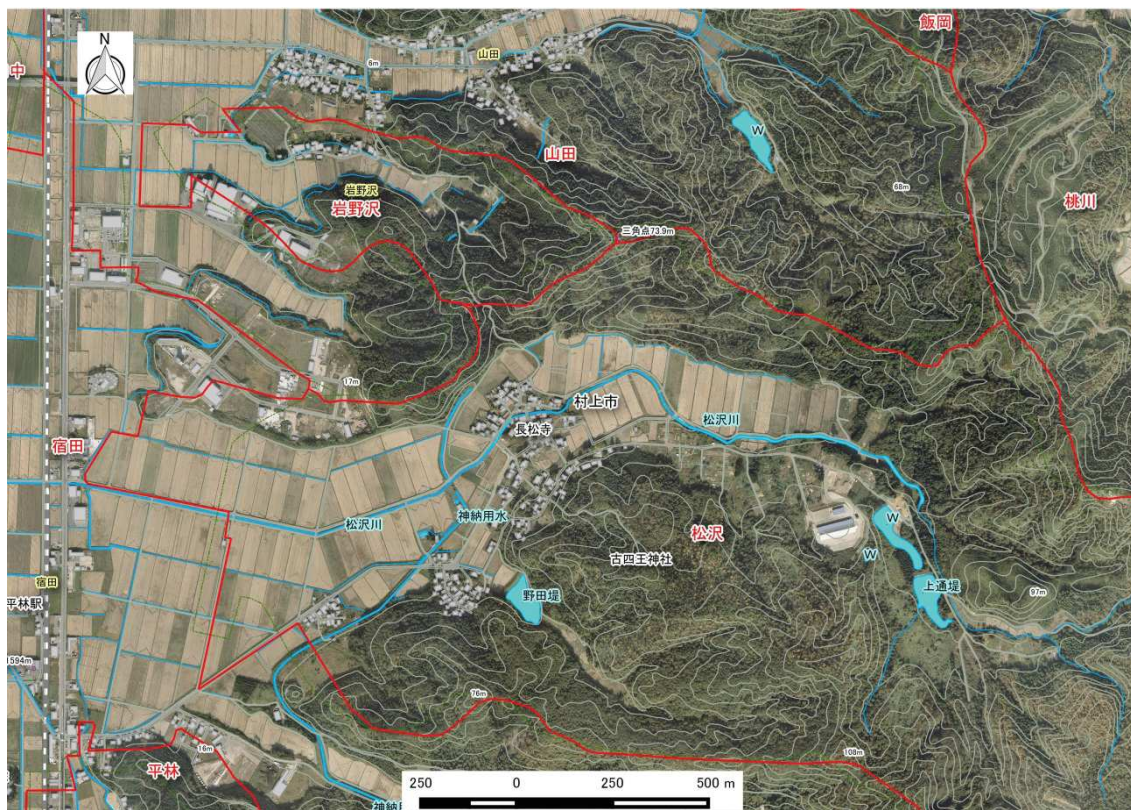
③ ビオトープ湿原の生きもの調査活動と湿原の保全活動

等です。

筆者は、田んぼの生きもの調査は毎年1回以上、継続して続けることが大事だと思っています。田んぼの生きもの調査を楽しく継続していくには、どうしたら良いのか？そして、どのような支援ができるのか？

皆様からのアドバイス、情報提供等を、よろしくお願いいたします。

テーマ：9年目を迎えた「松沢みどりを守り隊」の田んぼの生きもの調査活動への支援



図一2；松沢の地勢



図一3；松沢の生きもの調査マップ

テーマ：9年目を迎えた「松沢みどりを守り隊」の田んぼの生きもの調査活動への支援

表－2：過去9年間の生きもの調査参加人数と確認した主な生きもの

番号	種名	分類	レッドデータ にいた	平成19年 上通院 野田院	平成20年 上通院 野田院	平成21年 上通院 野田院	平成22年 上通院 野田院	平成23年 上通院 野田院	平成24年 上通院 野田院	平成25年 上通院 野田院	平成26年 上通院 野田院	平成27年 上通院 野田院	確認 回数										
1	カイツブリ	鳥類	—					●					1										
2	カルガモ		—					●					2										
3	サシバ		—					●					1										
4	ニホンマムシ	爬虫類	—				●						1										
5	アカハライモリ		準絶滅危惧(INT)				●	●		●		●	6										
6	アマガエル		—				●	●				●	4										
7	ツチガエル	両生類	—	●			●	●		●	●	●	8										
8	ニホンアカガエル		—								●		1										
9	トノサマガエル		絶滅危惧a類(VUL)		●		●	●	●	●	●	●	●	11									
10	アブラハヤ	魚類	—				●		●	●	●		4										
11	シマドジョウ		—						●		●		2										
12	タモロコ		—				●						1										
13	ドジョウ	魚類	—		●				●	●	●	●	8										
14	ホトケドジョウ		絶滅危惧a類(VUL)		●		●		●	●	●		6										
15	メダカ		準絶滅危惧(INT)										●	1									
16	ヨシノボリ	魚類	—		●		●		●	●	●		9										
17	サワガニ		—						●				1										
18	ズカエビ		甲殻類	—						●	●	●	●	5									
19	アメリカザリガニ	甲殻類	要注意外来生物						●	●	●	●	3										
20	オオタニシ		陸産貝類	—									●	1									
21	ナガゴガネグモ		クモ類	—	●				●			●	●	5									
22	アキアカネ	昆虫類 (トンボ目)	—					●					1										
23	ウスバキトンボ		—					●					1										
24	オニヤンマ		—		●			●		●	●	●	●	7									
25	オオシオカラトンボ	昆虫類 (トンボ目)	—				●	●		●			5										
26	オオイトトンボ		—				●	●					1										
27	ニホンカワトンボ		—				●	●				●	3										
28	キイトンボ	昆虫類 (トンボ目)	—									●	1										
29	キトンボ		—					●					1										
30	クロイトトンボ		—					●					2										
31	ヨオニヤンマ	昆虫類 (トンボ目)	—					●				●	1										
32	コサナエ		—					●					1										
33	シオヤトンボ		—				●	●					3										
34	シオカラトンボ	昆虫類 (トンボ目)	—				●	●	●	●		●	6										
35	ナツアカネ		—			●							1										
36	ノシメトンボ		—					●		●	●	●	5										
37	ハグロトンボ	昆虫類 (トンボ目)	—					●					1										
38	ハラビロトンボ		—				●						1										
39	マユタテアカネ		—		●			●		●			●	5									
40	モノサシトンボ	昆虫類 (トンボ目)	—					●				●	2										
41	ヤマサナエ		—					●	●				2										
42	リスアカネ		—						●				1										
43	イチモンジセセリ	昆虫類 (チョウ目)	—		●			●				●	4										
44	オオチャバネセセリ		—			●		●				●	3										
45	カラスアゲハ		—		●								1										
46	キアゲハ	昆虫類 (チョウ目)	—									●	1										
47	キチョウ		—								●		1										
48	キンモンガ		—		●								1										
49	コチャバネセセリ	昆虫類 (チョウ目)	—				●	●					2										
50	サトキマダラヒカゲ		—		●	●							4										
51	ジョウゼンミドリシジミ		—			●							1										
52	トラフシジミチョウ	昆虫類 (チョウ目)	—					●					1										
53	ヒメアカタテハ		—									●	1										
54	ヒメウラナミジャノメ		—				●		●				2										
55	ヒメジャノメ	昆虫類 (チョウ目)	—		●							●	2										
56	ミドリヒョウモンチョウ		—					●					1										
57	モンキアゲハ		—					●					1										
58	モンシロチョウ	昆虫類 (チョウ目)	—					●	●				1										
59	ヤマトシジミチョウ		—					●					1										
60	オオカマキリ		—					●					3										
61	オンブバッタ	昆虫類 (ハチ目等)	—						●	●	●	●	4										
62	コバネイナゴ		—							●	●		4										
63	ショウリョウバッタ		—								●		3										
64	トノサマバッタ	昆虫類 (ハチ目等)	—							●		●	1										
65	ナガゴガネグモ		—					●					2										
66	マカリケムシヒキ		—						●				1										
67	ガムシ	昆虫類 (甲虫目)	—			●				●	●		3										
68	ゲンゴロウ		準絶滅危惧(NT)				●		●			●	2										
69	コオイムシ		準絶滅危惧(NT)				●	●	●			●	5										
70	コシマノゲンゴロウ	昆虫類 (甲虫目)	—				●						1										
71	ヒメコガネ		—									●	1										
72	マツモムシ		—			●				●	●		3										
73	マメゲンゴロウ	昆虫類 (甲虫目)	—		●				●	●	●		4										
74	ミスカマキリ		—			●							1										
75	アメンボ		同(カ ムシ目)	—							●		1										
76	ヒメアメンボ	同(カ ムシ目)	—					●					1										
計				5	4	2	7	0	9	0	15	34	10	13	12	6	18	18	13	14	18	76	
生きもの調査参加人数				16	27	45	30	22	20	23	12	15	210										